

## B29 墜落と桑中生

西羽 晃

戦争の話が続ける。昭和 20 (1945) 年 6 月 22 日、アメリカ軍は各務ヶ原の航空機工場を攻撃した。その時に日本軍の攻撃を受けて桑名郡長島村 (現桑名市長島町) の田んぼにアメリカ軍機が墜落した。



当時の様子を伝える『中部日本新聞』

乗組員はパラシュートで脱出をはかり、うち 2 名は木曾川と長良川に落ちて溺死した。長島村の田んぼに無事に降りた 1 名が八間通にあった桑名警察署に連行されてきた。警察署での尋問に通訳が必要だったので、近くに住んでいる桑名中学 3 年生だった根来啓介君が通訳をつとめた。当時の桑名中学では英語の授業もあり、校長先生は英語の先生であった。なぜ根来君が通訳をしたのかは、彼の母親が娘の頃に外交官だった兄の付添でロンドンに勤めたことがあり、彼は小学生の頃から家庭で英語に親しんでいたのである。

晩年の根来さんに、「あなたの英語は正当な英国語なのに、ヤンキーの米国語と通じましたか」と私は訊ねた。根来さんは「名前、年齢、所属と階級」を聞いた程度だ」と話しておられた。

警察署の前の八間通には大勢の市民が集まり、「殺せ！殺せ！」と殺気立った

券囲気になっていた。責任者であった警防団長が警察署二階のバルコニーに捕虜を引き出し、群集の前で殴り、頭を押えつけて謝罪の態をとらせることによって群集の怒りを鎮めたといわれる。

戦後の21年10月6日、東海地区中等学校英語弁論大会が津市で開かれ、中学校18校、女学校7校が参加したが、桑名中学4年生の根来啓介君が1等賞の栄冠に輝いた。

長良川に落ちて溺死したアメリカ軍兵の霊を弔うために、21年11月22日に長良川畔の旧渡船場付近の堤防上に十字架が地元の人たちによって立てられた。十字架にはアメリカ軍兵を讃える意味の英文が書かれていたという。34年の伊勢湾台風後に長良川の堤防が移動し、また補強されたため、現在はその十字架は無くなっている。